

本日は、自転車駐車場整備事業を行う法人などで構成する民間団体「自転車の安全利用促進委員会」が先般公表した、「2022年 都道府県別・自転車通学時の事故件数ランキング※」（中・高生対象）からのトピックスを紹介します。

今回、高校生の自転車通学時の事故において、当事者の中で一番過失が重い「第一当事者」になってしまった割合に焦点を当ててみました。

以下は、都道府県別データのワースト5です（2022年）。

- 1位 東京：49.1%
- 2位 栃木：37.6%
- 3位 兵庫：35.3%
- 4位 和歌山：30.4%
- 5位 静岡：28.0%

ワースト3の「東京」「栃木」「兵庫」は、前の3年間（2019～2021年）もワースト5内に入っています。

これら都県では、道路交通環境の整備（ハード面）のみならず、自転車の適正利用の徹底など（ソフト面）を含めた早急な対策が求められます。

上述5都県以外のデータは、以下URLよりご覧になれます（資料内「調査トピックス②」ご参照）。

<https://jitensha-anzen.com/news/gakuseijiko2023.pdf>

なお当財団では、自転車やバイクなどの交通安全に関する専門講師による出前授業を無償で実施しています。

「ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全」「自転車事故のリスクと損害保険の役割」を含む6つの講習テーマで、現在お申込みを受け付けています。

どうぞご利用ください。

メニューやお申込み方法等の詳細については、以下URLをご参照願います。

<https://jaef.or.jp/lifestyle-teacher/>

※当実績は、同委員会が公益財団法人 交通事故総合分析センターから提供を受けた2022年（1月～12月）の事故データを調査・分析したものです。

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

---

▼"ツイッター"を始めました。

<https://twitter.com/jidousyakyouiku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>